

平成29年度 第1回学校評議員会の報告

1 日 時 平成29年7月21日（金）10:00～12:00

2 場 所 本校会議室

3 出席者 学校評議員

A 評議員（交流学校長）

B 評議員（地域行政区長）

C 評議員（福祉行政代表）

D 評議員（関係機関代表） ※都合により欠席

E 評議員（地域行政区長）

F 評議員（本校PTA会長）

以上5名

学校職員 校長 副校長3名 事務長 総括教務主任 小学部主事

中学部主事 高等部主事 進路指導主事 寮務主任

特別支援教育センター部長

以上12名

4 学校評議員会10:00～12:00

〈委嘱等〉 10:00～10:10

1 委嘱

2 校長挨拶（委嘱も含めて挨拶）

学校評議員の皆様にはいつも学校を支えていただき、本当にありがとうございます。

今回、評議員ということで、学校教育関係、福祉、行政、地域の皆様に委嘱をお願いいたしました。お忙しいところお引き受けいただきましてありがとうございました。1年間学校の状況を見ていただき、いろいろとご意見をいただきたいと思っております。

◎ 学校評議員一人一人を校長が紹介

学校概要、教育活動について、それぞれ担当者より説明させていただきますが、特別支援学校としてこの地に設立されて45年、本当に地域の皆様、関係の皆様を支えられてここまで来たなと感じております。学校独自の教育活動ではなく、地域と共に皆様からのご意見をいただき、同じ目線で学校を運営していこうというのが一般的な流れですし、そのような形で子どもたちも育ち、地域で生活する、地域で生活していけるというような流れができています。本校もその流れに沿って、いろいろな教育活動を行っているところですが、評議員の皆様をはじめ地域の多くの方々からご意見をいただきさらに努力していきたいと思っております。

3 出席者紹介

◎ 学校職員一人一人自己紹介

4 日程説明

〈授業参観〉 10:10～10:50

◎ 副校長の案内で小学部、中学部、高等部の授業参観、寄宿舎の見学

〈学校評議員会〉 10:55～12:00

1 開会の言葉

2 平成29年度学校経営について

(1) 平成29年度学校概要、学校経営方針について

◎ 校長よりパワーポイントを使用し学校概要、学校経営概要について説明、紹介

(2) 平成29年度各学部等経営方針について

◎ スライド写真を使用し、今年度の目標と学部の取組について、学部主事、寮務主任、副校長より学部、寄宿舎、分教室についてそれぞれ説明、紹介

(3) 平成29年度入学・転入学者の状況

◎ 総括教務主任より説明

(4) 平成28年度進路状況

◎ 進路指導主事より説明

(5) 平成28年度特別支援教育センター部の支援状況

◎ 特別支援教育センター部長より説明

3 質 疑

<B評議員> 熊の目撃情報が頻繁にあるが、学校としての対策はどうしているのか。

◎ 熊対策として

- ・ 普段、門を閉じている。
- ・ 登校時に屋外に音楽をかけている。
- ・ 校舎の出入り口は日中閉鎖している。
- ・ 昨年7月の土曜日に熊が敷地内に侵入し、猟友会に熊一頭を駆除していただいた。
- ・ 今年度、猟友会より、熊よけ鈴40個いただき活用している。

<A評議員> 特別支援教育センター部の支援状況から、相談者数が470人と多いが、増えてきているのか。

◎ ここ何年かは、相談者数の延べ人数は変わらない。

<A評議員> 市内の小中学校の児童生徒数は減ってきているが、花巻清風支援学校の児童生徒数の増加に伴う教室不足対策はあるのか。

◎ 現在のところ増築予定はない。平成31年度以降にできる県内特別支援学校の新プランに沿った形で教室不足対策の計画を考えていきたい。

4 提 言

<A評議員> 支援学校さんといろいろと交流させていただきありがとうございます。高等部の作業班の生徒さんたちに毎年、小学校のガラス清掃をしていただいておりますが、小学校の子どもたちもその作業の様子を見たりしているので、せっかくやっけていただいているので何かお礼というか感謝の気持ちを子どもたちにさせたいなと思っています。

<B評議員> 近くに住んでいるので、声をかけていきたい。

<C評議員> 小中高一貫としてのそれぞれの役割をもって児童生徒を育てていると感じた。北上みなみ分教室小学部、中学部は初年度人数が少ないが、今後も子どもの安全第一に気をつけてほしい。

< E 評議員 > 地域との連携として、熊対策、防災等、学校として困っていることがあれば遠慮なく私どもの方に来ていただきたい。

< F 評議員 > 先生方には、常日頃から十人十色の特徴をもった子どもたちに対しての支援をいただきありがとうございます。東北知P連（八戸）に参加して感じたことは、花巻は何かを作り出すことに一生懸命であるが、八戸では作り出すことよりも、接することを重視している。八戸の学校には接客実習室があり、地域の方々がいいつでも来校し、その部屋で子どもたちと関わりをもっている。地域とのつながりがあって良いなと感じた。高等部棟に高等部の生徒が作った作品を展示しているが、校内展示以外に外（地域）に発信できないか。そのことにより、生徒の自信と地域への理解につながると思う。

学校長より

- ・ 本校教育の普段の様子を知っていただきたい。
- ・ いつでも良いので立ち寄っていただきたい。地域との連携として、この学校がこの地域にあって良かったなあと思えるような学校づくりを目指していきたい。
- ・ 今後とも情報を発信しながら地域との連携を図っていきたい。

5 その他
特になし

6 閉会の言葉

以上